

# 大阪 フィルハーモニー 交響楽団

OSAKA  
PHILHARMONIC  
ORCHESTRA

# 2

# 20

土  
SAT

2010  
February

14:00 (13:30開場)

サントリーホール  
SUNTORY HALL

第47回東京定期演奏会

指揮: **大植 英次**  
Conductor: OUE Eiji

ピアノ: **フランチェスコ・ピエモンテーシ**  
Piano: Francesco PIEMONTESE

シューマン

Robert SCHUMANN

ピアノ協奏曲 イ短調 作品54

Piano Concerto in A minor, Op.54

R.シュトラウス

Richard STRAUSS

アルプス交響曲 作品64

Alpine Symphony, Op.64

料金(税込): S席7,000、A席6,000、B席5,000、C席4,000、学生¥3,000\*

\*カジモト・イープラスのみ取り扱い。当日13:00より座席券と引き換え。引き換えの際、学制証の提示が必要です。

主催: 社団法人 大阪フィルハーモニー協会

マネジメント: KAJIMOTO

チケットのお申込み・お問合せ:

カジモト・イープラス 0570-06-9960 <http://kajimotoeplus.com/>

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

その他販売所:

電子チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 335-558)

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/opo/>

サントリーホールチケットセンター (03) 3584-9999

大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890

<http://www.osaka-phil.com/>

平成21年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)



©飯島 隆



©Marco Borgreve

大いなる自然賛歌、大植のアルペン・シンフォニー。



ドイツ音楽をレパートリーの中心に据える大植が、これまで好んで取り上げてきたR.シュトラウスの作品の中から、南ドイツの別荘から見える雄大なアルプスの自然に触発されて書いたと言われる〈アルプス交響曲〉を取り上げます。「夜〜日の出」に始まり「登山」「頂上」「下山」「終結部」と5つの部分から成り、その途中に出会う、鳥のさえずりや小川のせせらぎ、牧場で聞える牛のカウベル、そして頂上での壮大なパノラマ、凄まじい雷雨と嵐など、様々な自然の風景とそこで沸き起こる登山者の感情を見事に写し出したこの名作を、抜群の表現力を誇る大植のタクトが描きます。

## 指揮: 大植 英次

Conductor OUE Eiji

2003年より大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督に就任。広島生まれ 桐朋学園で斎藤秀雄に指揮法を師事。1978年アメリカに渡り、小澤征爾の招きでタンゲルウッド・ミュージック・センターに学び、同年ニューイングランド音楽院指揮科に入学。タンゲルウッドでレナード・バーンスタインに出会い、以後世界各地の公演に同行、助手を務めた

パノファロー・フィル準指揮者を経て、1990年から1995年までエリー・フィルの音楽監督、1995年から2002年まで名門ミネソタ管の第9代音楽監督を務めた。1998年からはハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニーの首席指揮者を務め、2000年よりハノーファー音楽大学の終身正教授も務めている。2006年9月バルセロナ交響楽団の音楽監督に就任。2009年9月よりハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニーの名誉指揮者となる。

2005年、新演出の「トリスタンとイゾルデ」で日本人指揮者として初めてバイロイト音楽祭で指揮し、世界中の注目を集めた。2006年から毎年大阪城西の丸庭園で実施している「星空コンサート」では大成功を収め、毎年9月には1週間にわたり大阪御堂筋周辺の店舗やショールームなど十数か所で開催する「大阪クラシック」をプロデュース、いずれも大阪の風物詩となり、多くの聴衆を魅了している。2006年度大阪芸術賞特別賞、斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2007年11月、第42回大阪市市民表彰を受彰。2009年6月、ニーダーザクセン州功労勲章・一等功労十字章を受章。

## 大阪フィルハーモニー交響楽団

OSAKA PHILHARMONIC ORCHESTRA

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、1950年社団法人化、1960年に改組、現在の名称になった。

創立から2001年までの55年間朝比奈隆が指揮者を務め、大阪フィルは個性と魅力溢れるオーケストラとして親しまれてきた。

2003年4月、大植英次が音楽監督に就任。またこれまでに、遠山信二、外山雄三、若杉弘、秋山和慶、手塚幸紀、大友直人等、名指揮者達と専属契約を結んだほか、内外の一流音楽家と共演。「定期演奏会」はザ・シンフォニーホールで、年10回、毎回2公演開催している。また大阪以外の全国各地の文化振興にも貢献しており、数回にわたるヨーロッパ、カナダ、アメリカ、韓国、台湾での演奏旅行では各地で絶賛を博した。レコーディング活動も活発で、日本で一番多くレコード、CDを発表しているオーケストラである。

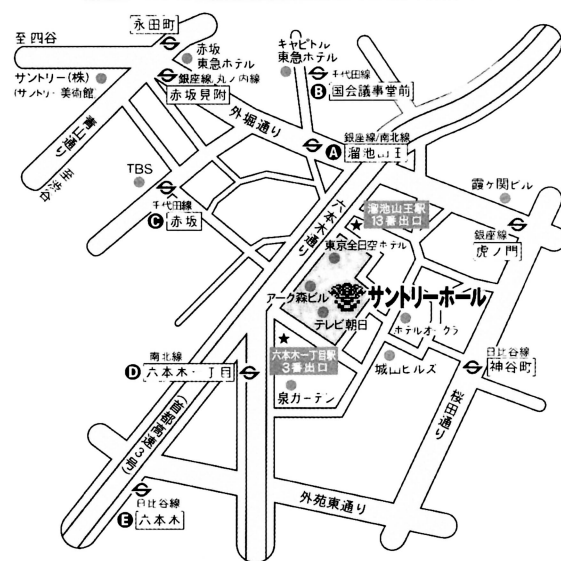
## ピアノ フランチェスコ・ピエモンテーシ

Piano Francesco PIEMONTESE

1983年スイス・ロカルノ生まれ 1994年初リサイタルを開く。ノーラ・ドアラ、アリエ・ヴァルディの両氏に師事。2007年エリザベト王妃国際コンクールにて3位に入賞。学業のかたわら、多くのマスタークラスに参加。これまでにヨーロッパ各国をはじめ、日本、韓国、アメリカでも演奏会を行う。またルードヴィヒスブルク城音楽祭、マルタ・アルゲリッチ・プロジェクト、ルール・ピアノフェスティバル、シヨパン・フェスティバルなど多くの音楽祭に参加。弱冠26歳にして、ベルリン・フィルハーモニー、ウィーン・コンツェルトハウス、ウィーン楽友協会、チューリッヒ・トーンハレ、カーネギーホールなどの著名なホールにて演奏している。

オーケストラとはイスラエル・フィル、リージュ・フィル、プラハ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団、チューリッヒ室内管弦楽団等と共演。共演した指揮者はドミトリー・キタエンコ、大植英次、ミハイル・プレトニョフなど。また室内楽にも関心を寄せており、ユリー・バシメト、ハインリヒ・シフ、マリア・クレーゲル、アンヌ・ケフエレンクラと共演している。

## サントリーホール(アークヒルズ) 周辺略図



### 〈主な交通機関〉

- 地下鉄・南北線 六本木一丁目駅より徒歩5分(3番出口をご利用下さい)
- 地下鉄・銀座線 溜池山王駅より徒歩7分(13番出口をご利用下さい)
- 地下鉄 千代田線 赤坂駅、国会議事堂前駅
- 地下鉄 日比谷線 六本木駅、神谷町駅、各駅より徒歩10・13分
- 都営01系統バス(渋谷〜新橋グリーンシャトル) 赤坂アークヒルズ前下車